

府中町放課後子ども教室の取組

開催教室：府中町放課後子ども教室（5教室合同開催）
日時：平成23年7月9日（土） 13:30～15:00
場所：くすのきプラザ
チーム名：広島大学教育学部物理学研究室 5名（広島大学）
参加児童数：51名（登録児童数77名，申し込み児童数52名）
内容：科学実験

府中町では、「びっくり科学実験教室」が開催されました。

参加した51名の子どもたちは、いつも自分が通っている放課後子ども教室とは違う友達とグループを作り、3種類の実験を楽しみました。

○ 活動の様子



たまった静電気はどこまで行くかな？手を離さないでね！

静電気の実験です。

子どもたちは、静電気に大盛り上がり。20名で手と手をつなぎ、ピリッ！全員に電気は流れたはずですが、ピリッと感じた子と感じない子がいました。次は10名ずつに分かれてチャレンジし、見事成功！全員ピリッと感じました。



さあ、どんな音が出るかなー？

ストローを使っていろいろな音を出す実験です。

子どもたちは、それぞれがストローをカットし、いろいろな音色を奏でていました。



大気圧の実験です。

失敗、成功を繰り返し盛り上がりました。

(大)さあ、うまくいくかな？
しまった、失敗した～
(小)ワッハッハ！
またやって、またやって！

○保護者の皆さんからの声（インタビューより）

○「ワクワク学び隊」に期待することは何ですか？

- ・ 理科離れが進む中で、今日のような科学実験は非常に意味のある取組だと思うので、ぜひとも、このような事業は続けてほしいと思います。

（30代男性）

- ・ 学年がバラバラというのは、交流する機会の少ない子どもたちにとって意義深いことだと思います。今後も学習の機会も大切ですが、このような交流の機会を多く設けてほしいと思います。

（30代女性）

○市町スタッフの皆さんからの声（インタビュー、アンケートより）

○「ワクワク学び隊」に期待することは何ですか？

- ・ 通常、教育委員会の事業で呼びかけると2,000人に対して100～200名程度の参加となりますが、今回はなんと77名の登録児童のうち52名の参加申し込み(67%)があり、うち51名が参加してくれて当課としても、保護者や児童のニーズに合い非常に喜んでいきます。

- ・ 今後とも保護者、児童のニーズを踏まえ事業展開していきたいと考えています。

○大学生の皆さんからの声（インタビューより）

- ・ 「実験」というものは、多くの子どもが興味をもち、多くの子が心を動かすものだと体感しました。今回、子どもたちを通して学んだことを教員になって生かしたいと思っています。

- ・ 正直、子どもたちがこんなに喜んでくれるとは思いませんでした。しかし、実際に小さい子に教えるということが、こんなに難しいとは思いませんでした。